

八辛巳歲三月六日施主敬白右意趣者
當寺前代之大檀那春日大明神四十九
代後胤鎌足大臣御子淡海公末孫武藤
左京大夫藤原朝臣義氏廂塔也前總持
正法二十八世籌山淳察云々意匠云々此
正法寺の位牌又石牌の戒名又字一様を
りん位正位牌の方を答とて位牌より此
といふた京方史の唐名よりて義氏の假
名之羽州太守とありハ出家王法を志ん
猿子稱するものなり武藤家より出羽守と云

ハ皆けねと云ふハ

義興

店內物語曰義氏亡後法士評儀して西屋取
の所在墨玄庫頭義興を大浦の城小移し
武藤家の寺に遷をつりむとあり意匠云々
此義氏の物とあり又曰義興実子と云に
よつて戦後必本庄重長の子を養子とてけ
人三十二の年云々上家と合戦して生捕と必
云上家郡代中山云々養い人本庄重長と合
戦し云々新屋店内戦後成となりと云